



『理念(考え方)実践型経営の真髄』 ——『創業の理念』徹底と実践の重要性——

高井法博会計事務所
TACTグループ関連12社代表

税理士 高井 法博

今年の九月十四日・十五日、私の師事する京セラ創業者の稲盛和夫氏が主宰される勉強会に出席した。今年は個人的にも大変なことが色々発生し出かけることに迷ったが、稲盛名誉会長のご年齢からしても直接ご指導をいただける機会は何度もないと思い、時間を作り無理して出かけた。出席して本当に良かった。稲盛会長が冒頭の講演で「皆さん方は日頃から良い会社を作ろう、素晴らしい業績をあげようと必死に思い、涙ぐましい努力をし、また今日もこのように大変忙しい中、多くの経営者に集まっていただいている。また各々の会社ではこの精神で日常の業務と共に社員教育にも大変な力を注いでおられる。しかしながら、なかなかその成果は出ていない。その勉強は事業に必要な生産や販売の技術、商品知識、商法や税法、その他事業に必要な関係法令等、能力的な研修会も色々やっておられると思う。これらも重要ではあるが、私は常々人生や仕事の結果というものは『能力×熱意×考え方』という方程式で決まると考えている。このうちとりわけ重要なのは『考え方』である。これは会社のまた創業の理念・方針であり、これをしっかりと

磨き徹底をしていかなかったら、せっかくの能力も努力も各種研修も『砂上の楼閣』となる」と述べられた。稲盛会長は「私は鹿児島大学工学部出身のファインセラミックス研究の権威で化学者である。その私が皆さんにこれらの勉強より事業経営を行っていく上で優先しなければならぬのが、理念・方針、会社のフィロソフィに関する勉強であり、これが疎かになっている。経営者はこれを繰り返し繰り返し行う必要がある。技術的論理的な勉強は、経営者以外でもできる。」と論され、その教材に京セラフィロソフィを活用すると良いと話された。

一、京セラフィロソフィの精神

そして『京セラフィロソフィ』がどのような過程で生まれてきたかを次のように話された。

私は二七歳の時、七名の仲間とともに資本金三百萬の京都セラミックを作りました。会社を始めた頃は十分な資金も、立派な建物や機械も、優秀な人も、さしたる技術もありませんでした。人で、資金で、経費を賄うための売上高を如何に作るかでもがき苦しむ中から、私は人の心というものをよりどころとしてこの会社を経営していこう

と決心しました。人の心はどうつらいやすく頼りにならないものもない代わりに、ひとたび固い信頼で結ばれば、これほど強く頼りになるものはありません。その後会社を運営していく中で私はさまざまな困難に遭遇し、悩み苦しみがらもこれら乗り越えてきました。その時々仕事について、また人生について自問自答する中から

生まれきたものが京セラフィロソフィです。これは実践を通して得た人生哲学であり、その基本は『人間としてこういう生きざまが正しいと思う』このような生き方で人生を送っていけば個人の人生も幸福になり、会社も繁栄すると社員に訴え続け、これに共鳴した社員が人間の持つ無限の可能性を信じ、際限のない誰にも負けない努力を続けてきたから今日の京セラの発展があります。この過程でこの『京セラフィロソフィ』に社員から個人の自由を束縛するの、思想統制をするのか等大変な反発を受けたこともありましたが、特に高学歴のインテリや高度な技術者であればある程強く反発しました。私は大変悩みましたが、この考えに同調できない人に対し『君の考えと私の考えは合わない。たとえ優秀な人間であらうと、考え方が合わないければしょうがない。他の会社へ行ってもらっても結構だ。』と言って辞めてもらうこともありましたが、思想を分かち合えない、哲学を共有できない人には辞めてもらっても私は全従業員でフィロソフィを共有しようとしたのです。概ねこのようなことを話された。私自身今年で創業二九年目を迎えているが、過去

最も伸びている時、決して今に比べれば人も普通の人で金もなかった。また売るものもたいしたものでもなかった。しかし、思想を一人にして人一倍頑張っていた。当時に比べると、今は人も金も売るものもある。それでいながら成果は今一歩である。理念の徹底不足を猛省した。

二、ポジティブな考え方ではないと成功しない
この話を聞き、まさにその通りと思い、原点に還るために早速十月より毎週月曜日の早朝七時三十分より理念・思想の勉強会を開始し、現在3カ月が経過した。また幹部の合宿研修会でも、『理念実践型経営』をテーマに研修をした。考え方がポジティブであるかネガティブであるかによって人生や仕事の結果は大きく左右する。ポジティブとは、前向き、積極的、進歩的、肯定的、建設的で自己批判をし、自責でプラス思考、統合の思想に基づいた考え方で議論も創造的な結論にたどりつける。反面、ネガティブとはこの逆で、後ろ向きで消極的、否定的、他の批判をし、責任転嫁をし他責で、マイナス思考で、分離の思考に基づいた考え方で議論も人を差し込むような水を差しぶつ壊すような結論となってしまう。真に一度しかない人生を成功しようと思うなら、謙虚な自分になり、誠実に真面目に、自己探求を行い、考え方を磨き心を高め、ポジティブな自分にならなければならない。素晴らしい会社にするためにもこれが最も重要なことであると確信し、体の続く限りこの勉強会を継続しなければならないと思った。